



元気っ子

No202 ながさわ保育園

園長

市川温予

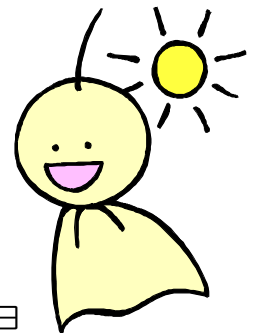
新しい生活が始まり、2ヶ月が経ちました。生活の流れを理解しはじめた子ども達は、園生活にも馴染み、自分から好きなことをして遊んだり、友達の存在が気になりはじめ、同じことをやってみたいという気持ちが出てきているように思います。友達にくっついてみたり、手をつないでみたりと何とも微笑ましい光景です。

これからももっともっと子ども達一人ひとりのパワーが全開になっていくと思いますので、ゆっくりゆっくり、見守っていきたいと思っています。

中学校二年生の職場体験学習

鈴峰中学校二年生の生徒6名が職場体験学習として、5月20日から5月23日の4日間、ながさわ保育園に来てくれました。初日は生徒さんも緊張してどのように子ども達と接したらいいのかわからず、戸惑ったり、不安そうな表情の子もいましたが、日を重ねるごとに「〇〇ちゃん、これする?」「お姉ちゃんがしてあげるよ」とお互いに仲良くなっていきました。そして、子どもの目線に合わせて、しゃがんで話をしたり、給食の時には優しく「上手に食べるね。えらいね。」とプラスの言葉がけをしてきていました。また、違うところに職場体験に行っていたながさわ保育園の卒園児2名の男子生徒も職場体験が終わってから遊びに来てくれました。二人ともエネルギー全開で遊んでくれました。子ども達はそんなお兄ちゃんが大好きです。真剣に向き合い、手を抜かずに遊んでくれたからです。

こうやって普段とは違った人と関わることは、子ども達にとって新しい人間関係の経験になり、これから生きていく上でとっても大切な力になっていくのだと私は思います。



園庭遊び

子ども達は戸外遊びが大好きです。にこにこ嬉しそうに遊びまわっている姿を見ていると本当に幸せなんだなあと思います。思いっきり動き回り、友達と笑いあって美味しい給食をいただき、ぐっすり眠る。こういう子ども達の心身の中にはさまざまな力が蓄えられていくのだと思います。とにかく戸外では、走ったり、しゃがんだり、ジャンプしたり、ケンケンしたり、遊具に登ったり、ぶら下がったり、いろんな動きを経験して子ども時代の体作りをしてほしいと思っています。

